

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価に関する取扱い

1 日中サービス支援型共同生活援助について

(1) 概要

日中サービス支援型共同生活援助は、障害者の重度化・高齢化に対応するために平成 30 年 4 月に新設された共同生活援助の一類型である。短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されている。

(2) 対象者

主な対象者は、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することができない障害者（日によって利用することができない障害者を含む）である。なお、障害支援区分による制限はない。

2 広島市障害者自立支援協議会地域部会での報告及び評価

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準」第 213 条の 10 では、日中サービス支援型共同生活援助事業者は、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質を確保する観点から、定期的に地方公共団体が設置する協議会等に対して事業の実施状況等を報告し、評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴くことと定めている。

広島市においては、以下のとおり取り扱う。

(1) 報告を行う協議会等

広島市障害者自立支援協議会地域部会（以下「地域部会」という。）にて年 1 回以上報告を行う。

(2) 対象事業所

新規指定から 6 か月を経過した事業所とし、(3)アにより設定された地域部会開催時期を踏まえて障害自立支援課が指定する。

(3) 地域部会への報告及び評価（イメージ図は別紙のとおり）

ア 地域部会事務局（各区基幹相談支援センター。以下「事務局」という。）は、報告及び評価を実施する地域部会の開催時期を設定し、その予定時期を障害自立支援課へ報告する。

障害自立支援課は、事業者へ地域部会への出席及び様式 1 「事業実施状況報告書」の作成・提出を依頼する。

イ 障害自立支援課は、アにより提出された様式 1 を事務局へ送付する。

ウ 事務局は、イにより送付された様式 1 を、地域部会開催日より事前に出席予定者（以下「評価者」という。）へ送付する。

エ 事業者は指定された地域部会に出席し、事業の実施状況等を報告する。

地域部会は、報告内容に対し、様式 2 「事業内容評価票」により評価、要望、助言等を行う。

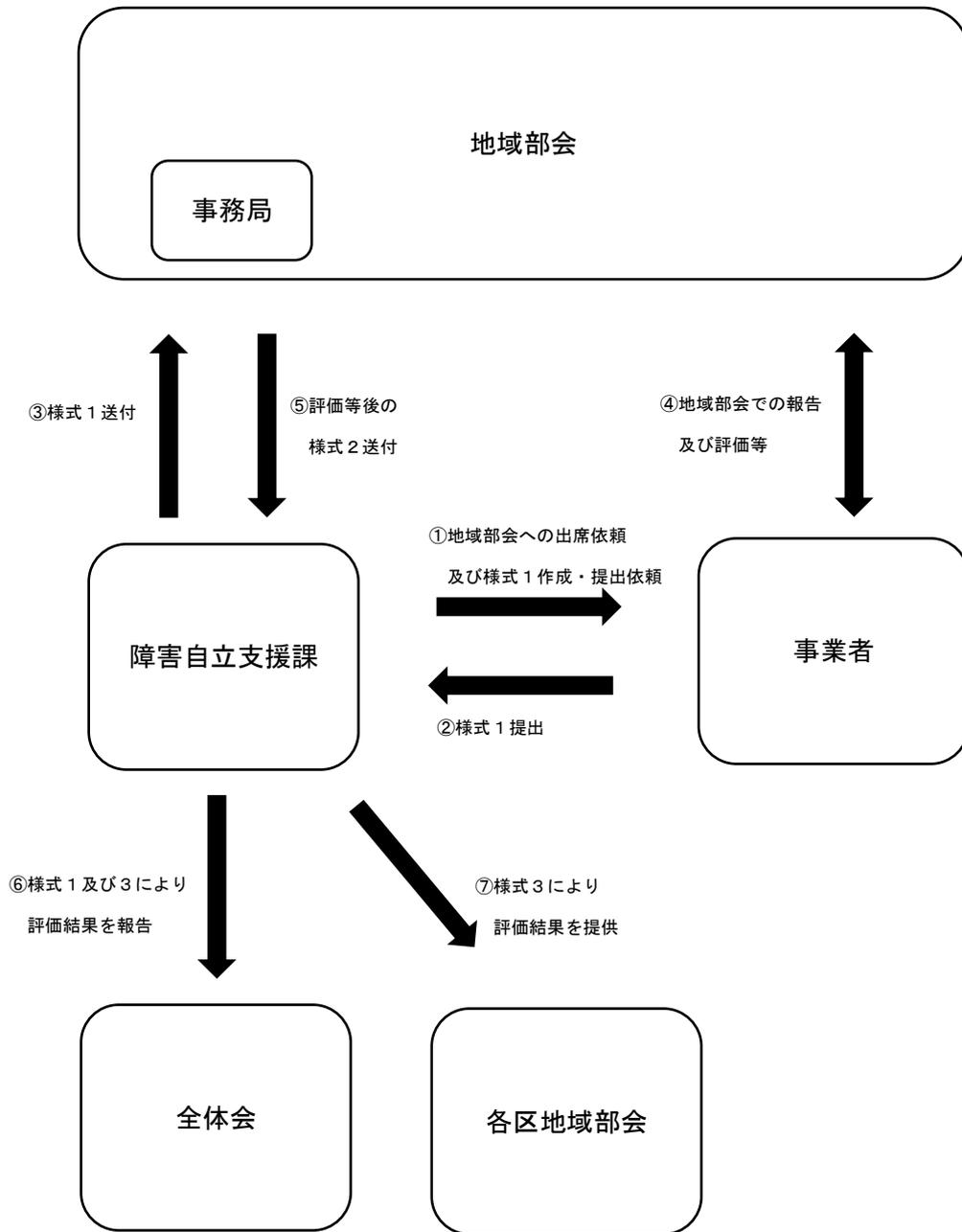
オ 事務局は、各評価者から提出された様式 2 を障害自立支援課へ送付する。

カ 障害自立支援課は、オにより送付された様式 2 を取りまとめ、様式 3 「事業内容評価等結果」により当該事業者に提示する。

キ 障害自立支援課は、原則、実施年度において全ての対象地域部会開催後、直近の広島市障害者自立支援協議会全体会にて、様式 1 及び様式 3 により報告及び評価結果を報告する。

また、障害自立支援課は、様式 3 により結果を各区地域部会にも提供する（この際、事業所名等事業所を特定できる情報は表示しないものとする）。

広島市自立支援協議会地域部会での報告及び評価のイメージ



日中サービス支援型共同生活援助事業所及び報告・評価実施日一覧

所在区	指定年月日	事業所名	共同生活住居	評価実施日
中	R4.4.1	グループホームSA-N-PO(三歩)本川町	グループホームSA-N-PO(三歩)本川町B グループホームSA-N-PO(三歩)本川町A	R7.12.15
西	R3.9.1	グループホームりらっくす南観音	グループホームりらっくす南観音1 グループホームりらっくす南観音2	R7.9.8
安佐南	R4.3.1	グループホームりあん	グループホームりあん	R7.11.26
	R5.5.1	グループホームりらっくす伴	グループホームりらっくす伴1 グループホームりらっくす伴2	R7.11.26
	R6.2.1	グループホームのんびり	グループホームのんびり	R7.12.4
	R7.1.1	グループホームりらっくす祇園	グループホームりらっくす祇園1 グループホームりらっくす祇園2	R7.12.1
	R7.3.1	グループホーム ボヌール川内	グループホーム ボヌール川内1 グループホーム ボヌール川内2	R7.12.1
安佐北	R2.8.1	ソーシャルインクルーホーム広島狩留家町2号館	ソーシャルインクルーホーム広島狩留家町2号館Ⅰ ソーシャルインクルーホーム広島狩留家町2号館Ⅱ	R7.8.7
	R4.8.1	グループホーム にこり・ほっと	グループホーム にこり・ほっと2階 グループホーム にこり・ほっと3階	R7.8.7
佐伯	H29.5.1	グループホームひといき	ひといき利松 ひといき美鈴園 ひといき八幡	R7.10.24
	R3.6.1	ソーシャルインクルーホーム広島坪井	ソーシャルインクルーホーム広島坪井Ⅰ ソーシャルインクルーホーム広島坪井Ⅱ	R7.10.24
	R5.11.1	グループホームつばき五日市	グループホームつばき五日市	R8.1.23
	R2.10.1	グループホームりらっくす五日市	グループホームりらっくす五日市やはたA棟 グループホームりらっくす五日市やはたB棟	R8.1.23

各地域部会での報告・評価にあたっての説明及び注意事項

評価者に対しては、以下の1によりグループホームの概要を説明した後、2により様式2の評価票の各項目とポイントについて、日中サービス支援型共同生活援助の創設の経緯や趣旨を踏まえた説明を行う。最後に、3のとおり評価者への注意喚起を行う。

(※1、2の説明の際には、別添1、2の資料等を適宜参考資料として使用する)

1 共同生活援助（グループホーム）の概要

(1) 対象者、支援内容

一定の介護が必要であり、地域の中での生活を希望する方を対象に、主に夜間において、食事や入浴等の介護や相談等の日常生活上の援助を行うサービス。

(2) グループホームの種類

共同生活援助（グループホーム）は、3つの類型に分かれており、事業所の従業員により介護サービスが提供される「介護サービス包括型」、介護サービスを外部の居宅介護事業所に委託する「外部サービス利用型」、事業所の従業員により常時の介護サービスが提供される「日中サービス支援型」がある。

2 各評価項目と評価のポイント（枠内）についての説明

(1) 利用者の受入

【評価ポイント】

日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。

- ・ 「日中サービス支援型」は、障害者の重度化、高齢化が年々進む中で、重度障害者に対応できる体制を確保するために、平成30年度に創設されたグループホームの新たな類型。
- ・ 重度化、高齢化のため、日中活動系の障害福祉サービス等を利用することができない、又は日によって利用することができない障害者を主な対象としており、昼夜を通じて常に職員が配置されている。

→ 事業所から報告される利用者の年齢や障害支援区分の内訳などを踏まえ、評価をしていただく。

(2) 支援の実施

【評価ポイント】

- ・ 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の生活上の支援を行っているか。
- ・ 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。
- ・ 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。
- ・ 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。

- ・ 日中サービス支援型のグループホームでは、利用者のニーズに応じて、日常の介護はもとより、利用者が充実した生活を送ることができるよう外出や余暇活動等の社会生活上の支援を行う。
 - ・ 住居内でも利用者が日中活動を行うことができるように活動のメニューを組んでいるが、利用者の意向に反して、他事業所での日中活動サービス等の利用を制限することのないよう留意するとともに、利用者が外に出て日中活動サービスを利用できるように、他の事業所と緊密な連携を図ることが求められている。
 - ・ 評価のポイントの3つ目に、「強度行動障害のある者への支援体制」を確保しているかどうかという項目について説明。「強度行動障害」とは、自分の体を叩いたり、危険につながる飛び出しなど、本人の健康を損ねる行動や、他人を叩いたり物を壊す、大泣きが何時間も続くなど、周囲の人に影響を及ぼす行動が高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことをいう。
 - ・ また、4つ目には「利用者の心身の状況に応じた医療ケア」を行っているかどうかという項目について説明。重度の障害者には、呼吸や栄養摂取、排泄など、日常生活において医療機器や医療行為を必要とする方がいる。
 - ・ このような重度の障害のある方については、専門的な研修を修了した職員の配置や、医療機関等との連携等により、十分な支援体制を確保する必要がある。
- 職員の資格や配置、事業所での健康管理の実施状況等を踏まえ、評価していただく。

(3) 地域に開かれたサービス

【評価ポイント】

地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。

- ・ 日中サービス支援型のグループホームでは、利用者が地域において、家庭的な環境の下、また、地域住民との交流の中で、自立した生活を営むことができるよう、介護や日常生活上の援助を行うことが求められている。
- 事業所の地域との交流状況等を踏まえ、地域住民との交流の機会が確保できているかを評価していただく。

(4) 地域移行等の促進

【評価ポイント】

施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組みを行っているか。

- ・ 日中サービス支援型のグループホームは、重度化、高齢化のため、日中活動系の障害福祉サービス等を利用することができない、又は日によって利用することができない障害者を主な対象としていることから、障害者の入所施設や精神科病院に入っている方の地域移行の促進や地域生活の継続に向けて取り組まれることが求められている。

- ・ また、グループホームに短期入所（ショートステイ）を併設し、地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供する等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されている。

→ 事業所として行っている取組みが、施設等からの地域移行の促進及び地域定着に効果的なものであるか、評価していただく。

(5) その他自由記載欄（全体的な感想など）

その他、要望（当該グループホームに今後期待すること）や助言、感想等について記入していただく。

3 報告・評価にあたっての注意事項

評価の場で抱いた感想や評価の内容等は、外部に出回ることにより、評価者が意図しない形で事業所の評判低下を招き、事業所運営に支障をきたす可能性があるため、報告・評価の内容について、いたずらに噂話を広めることのないよう注意すること。

また、評価終了後に、記入された評価票は地域部会事務局（基幹相談支援センター）で回収する。

4 参考

前回、広島市障害者自立支援協議会全体会で報告・評価を実施した際のタイムスケジュール等について以下枠内に記載していますので、事業所との打ち合わせや当日の進行等の参考にしていただければと思います。

【タイムスケジュール】

- ・ 事務局から事前説明
- ・ 4事業所の報告、評価を45分程度で実施
- ・ 1事業所あたり5分以内で事業報告をし、各事業所の説明が終わる毎に3分程度、質疑応答を実施
- ・ 全事業所の報告・質疑応答が終わった後、全体を通しての質疑応答（10分程度）

【事業所へ事前に伝達した事項】

時間の制約上、報告書全ての内容を説明するのは厳しいため、評価のポイントに関係する箇所に内容を絞り、最低限、以下の項目について説明していただくよう依頼した。

- ・ 当該事業を行う動機、目的
- ・ 当該事業の運営方針
- ・ 利用者の状況
- ・ サービスの内容、事業所の特色等

別添 1

共同生活援助（グループホーム）の概要

障害のある方が地域住民との交流が確保される地域の中で、家庭的な雰囲気の下、共同生活を営む住まいの場

【利用者像】 ・ 単身での生活は不安があるため、一定の支援を受けながら地域の中で暮らしたい方 ・ 一定の介護が必要であるが、施設ではなく地域の中で暮らしたい方 ・ 施設を退所して、地域生活へ移行したいが、いきなりの単身生活には不安がある方	【支援内容】 ・ 主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他日常生活上の援助を実施 ・ 利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施	【設備、立地】 ・ 居室及び相互に交流を図ることができる設備を設ける ・ 居室の定員：原則1人 ・ 居室面積：収納設備を除き7.43㎡ ・ 地域住民と交流が確保されるような住宅地に立地
---	---	---

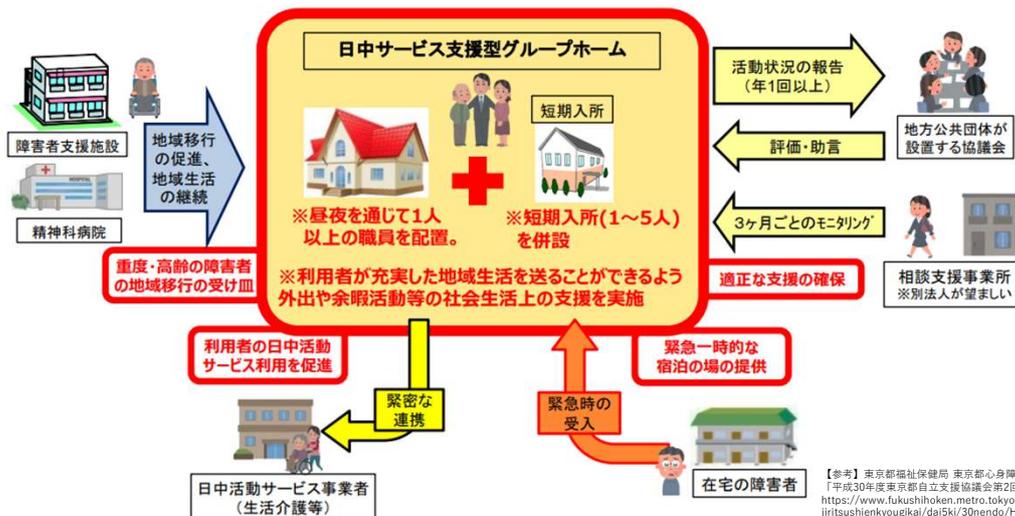
グループホームの3つの類型

	グループホーム（共同生活援助）		
	（介護サービス包括型）	（日中サービス支援型）	（外部サービス利用型）
利用対象者	障害支援区分にかかわらず利用可能		
サービス内容	主に夜間における食事や入浴等の介護や相談等の日常生活上の援助		
介護が必要な者への対応	当該事業所の従業者により介護サービスを提供	当該事業所の従業者により常時の介護サービスを提供	外部の居宅介護事業所に委託

【参考】厚生労働省、「障害福祉サービス等報酬改定検討チーム 第14回会合(R2.9.11)」：
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingj/other-syougai_446935_00001.html

別添 2 地域生活支援の中核的な役割を担う日中サービス支援型グループホーム

障害者の重度化・高齢化に対応するために平成30年度に創設されたグループホームの新たな類型。短期入所を併設し、地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待される。



【参考】東京都福祉保健局 東京都心身障害者福祉センター。
 「平成30年度東京都自立支援協議会第2回本会議開催報告」。
https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shinsho/jiritsushienkyougikai/dai5ki/30nendo/H30honkaigi2_houkoku.html

評価意見まとめ

ポイント1 利用者の受入れ

- 重度・強度行動障害・医療的ケアが必要な方を積極受入れ
- 満床が続く地域ニーズにしている
- 多職種連携・生活リズム調整・看取り等の専門支援
- 重度化に対応した設備整備（車いす入浴設備・広いエレベーター）

ポイント2 支援の実施

- 看護師・精神保健福祉士配置による医療連携強化
- 強度行動障害支援者養成研修の受講が進む
- 日中活動の多様化、一方で個別支援・余暇支援に課題
- 地域交流・家族会への評価と医療連携の明確化が課題

ポイント3 地域に開かれたサービス

- 町内会活動・清掃・防災行事など地域活動へ参加
- 学生ボランティア受入れによる外部連携拡大
- 利用者全員の参加が難しく段階的な関わりが必要
- 地域理解不足や災害時対応など慎重な姿勢が必要

ポイント4 地域移行等の促進

- 意向を尊重した段階的な自立支援を実施
- 生活技術習得・外出支援・住宅見学など将来像の具体化
- 地域移行は単独支援に限界 → 地域連携会議等の強化
- 個別性に合った地域とのつながりづくりが鍵

○各事業所の利用者状況

(単位は人)

No.	事業所	1 年齢							2 障害支援区分				
		20代	30代	40代	50代	60代以上	入居者合計	定員	1区分2無	区分3	区分4	区分5	区分6
1	A	1	2	5	7	3	18	19	0	4	10	2	2
2	B	3	3	6	4	4	20	20	0	5	11	1	3
3	C	3	4	2	1	0	10	10	0	1	2	4	3
4	D	7	1	4	4	4	20	20	1	4	6	8	1
5	E	8	0	0	0	0	8	8	0	0	1	2	5
6	F	9	1	2	5	3	20	20	0	5	6	6	3
7	G	4	4	1	7	2	17	20	0	3	9	3	2
8	H	2	2	2	9	4	19	19	0	3	7	6	3
9	I	0	6	7	7	0	20	20	2	3	5	4	6
10	J	8	7	6	2	5	28	28	1	2	5	10	10
11	K	3	1	2	9	4	19	20	0	10	6	2	1
12	L	1	4	2	1	1	9	9	0	1	4	3	1
13	M	6	3	1	3	3	16	19	3	5	4	4	0
計		55	38	40	59	33	224	232	7	46	76	55	40
(割合)		(25%)	(17%)	(18%)	(26%)	(15%)	97%		(3%)	(21%)	(34%)	(25%)	(18%)
		約40%					入居率		約80%				

(単位は人)

No.	事業所	3 障害種別(重複あり)				4 障害特性		5 入所の経路 ^{※1}				6 退所の経路 ^{※1}			
		知的	精神	身体	難病	医療的ケア	強度行動障害	入所施設	病院	他GH	※2その他	入所施設	病院	他GH	※2その他
1	A	4	15	3	2	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0
2	B	14	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	C	9	1	2	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0
4	D	12	12	3	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0
5	E	8	0	2	0	0	8	0	0	1	1	1	0	0	0
6	F	11	3	8	1	0	3	0	2	1	17	0	0	1	0
7	G	9	11	5	1	0	3	0	7	4	7	0	1	0	0
8	H	13	4	2	0	0	4	0	0	1	1	0	0	0	1
9	I	19	3	8	1	0	5	1	1	0	2	0	0	1	2
10	J	21	3	4	0	0	9	0	0	0	1	0	0	0	0
11	K	7	11	5	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0
12	L	6	4	1	0	0	2	1	4	3	2	0	1	0	0
13	M	13	2	1	0	0	2	3	3	0	2	0	0	0	1
計		146	72	51	5	1	46	5	22	10	36	2	4	3	4

※1… 報告書提出月の前月から起算して前1年間の実績

※2… 自宅、実家など

事業所	A
-----	---

1 利用者の受入
(評価ポイント)
● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 順番待ちという形はとっていない。すでに入居している方との兼ね合いで判断。 ● 痰吸引など医療的ケアが必要な方についても対応していく予定。家族・本人にとっても医療的ケアが必要になると退所しないといけないという不安がある中で、施設で対応していただけるのは心強い。 ● 人材を育てていくという姿が見られ、困難事例でも対応していく思いが伝わった。 ● 受け入れも入居者への配慮が見られた。 ● 正直、精神障害の方が半分以上いるのは驚きだった。 ● 日中支援型の強みは重複障害の方や強度行動障害の方、加えて身体障害の方の受け入れを積極的にできることだと思うので、力を入れてもらいたい。 ● 通常の包括型のGHは随分増えたが、ハード面に課題があり、身体障害の方が入居できる場所は、とても限られている(これは通所先にも同じことが言えるが…)ので、環境が整った場で生活を望まれている人は多いので検討してもらいたい。 ● 「どのような方でも受け入れる」が目標とのこと。そのための研修受講を勧めるなど、具体的に取り組む姿勢が伺えた。 ● 医療的ケアの方々に対しては現在、訪問診療等受入体制を作っている途中とのことで、実現されることを願っている。 ● 利用する方がホームに慣れやすいような利用の仕方をしていただくなど、柔軟な姿勢で対応されていると感じた。 ● 強行動障害に関する研修を受けることは、より事業所としての対応力を上げることに繋がると思う。

2 支援の実施
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の状況をシステムで管理し、漏れがないようにすることは、スタッフも安心してケアできる。 ● 日中活動も色々取り入れていてよかった。 ● 自分で日中何をしたいか何処に行きたいかを選べるようになってきている。 ● 看護師や精神保健福祉士を常勤で配置されることは、利用者やその家族、支援者にも安心感を与えらると思う。 ● 日中活動の内容についてもよく考えられている。また、日中活動サービス等利用も積極的にされている。 ● 昨年度不安に感じたスタッフ間の情報共有が出来ていない点を重要項目として取り組まれたとのこと。リアルタイムで確認できる仕組み作りの構築、さらには健康状態の共有までされており、ヒューマンエラーが軽減したと伺い、大きな改善だと思った。 ● 現場主任制を取り入れるなど、体制強化も(昨年度に比べて)されていると感じた。 ● 利用者、関係者のニーズを満たすため、看護師を職員に採用しているなど、事業所独自の取り組みを進められているのは良いと感じた。 ● 外国の方の勤務が継続できているのは、会社としてしっかり支えられているからだと思う。是非継続できる環境をより充実させてほしい。 ● 重度・高齢化に向けた研修受講など体制づくりに積極的に素晴らしい。今後の医療的ケアについての喀痰吸引等の研修も考えているとのこと、期待している。

3 地域に開かれたサービス
● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 学生アルバイトを活用することは、学生・利用者の両方にとってもプラスになり、積極的に活用してほしいと思う。 ● 地域との交流について、継続して取り組まれている。今後も引き続き地域との連携を続けていきたい。 ● ボランティアや学生の受け入れもされていることで、交流の和が広がることを期待している。 ● 町内の地域住民との交流も積極的に行われており、好感が持てた。 ● 地域の方に「入れるのか」と興味を持ってもらえているのは素晴らしいことだと思う。 ● 利用されている方が積極的に地域の活動に参加されていると思う。本人が参加しやすい形にも配慮をしっかりと感じていると感じた。 ● 日中活動の中で、歌や体操等されていたのも見学させてもらった。SANPOさんのイベントに地域の方も参加できるというのも良いのではないかな。

4 地域移行等の促進
(評価ポイント)
● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の意思がある場合、次の所にステップアップしていく助けをしてあげるスタンスは良いと思う。 ● 前年引き継ぎで指摘があったところも改善されていた。 ● 痰吸引の資格も考えているのはとても期待ができる。 ● 利用者の自立について、個人性も含めて考えておられて良いと思った。必要時、長い目で移行について考えている。 ● その人らしい生活を送れるということを基本に据えられて無理なく地域移行を進めていると思った。 ● 色々な事情を持ちながらもホームをいずれは出て、次のステップに進められるように関わっていく姿勢が感じられた。 ● 本人の状況やニーズに合わせた移行を進めるのは、事務所単独では難しいと思う。他機関との交流、情報交換の機会を増やしてみるのはいかがでしょうか。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
● まずは話を聴くという姿勢はすごく良い。

事業所	B
-----	---

1 利用者の受入 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 1年間入居者数が0人であり、利用者が固定されている。 ● 区分の重たい方を多く受け入れている印象。 ● 60代以上の方が複数いるので、重度化高齢化に対応していると思う。 ● 受入を積極的にした上での満床である。 ● 区分の低い人が多い点が課題だと思う。 ● 緊急時一時的な場の提供を実施していないのか。地域にニーズはあると思うので、取り組んでほしい。 ● 地域で暮らせる事を目標に挙げている利用者がいたら、その支援計画を作成し、目標達成を目指してほしい。 ● 退所者もいる中で満床となっているため、必要とされている方に応えられていると思うが、強度行動障害支援者養成研修を受けられている職員もいるので、そのアピールをしてもよいのではないかなと思う。 ● 利用者のほとんどが就労等に週に 5 日行くことができている状況のため、もう少し強度行動障害や就労等の活動が難しい方の受け入れをしてほしいと思う。 ● 受け入れ先が無かったり、あったとしても定員や状況によって受け入れてもらえないという話をよく聞くので、もっと受け入れ枠が広がったらよいと思った。 ● 緊急のショートステイが利用できること等情報を伝えていくことが大切だとよくわかった。

2 支援の実施 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の希望に沿えるよう人員配置を考慮できている。 ● 健康面について、家族と連携が取れていると感じた。 ● 強度行動障害の養成研修を受けている支援員が多く、受け入れに備えられていると感じる。 ● 職員がケガをしない対応をしてほしい。 ● 集団生活ではあるが、利用者の意向を大切にこれからもお願いしたいと思う。 ● 内服管理について、看護師が配置されているが、オーバードーズになるまで気が付けないのは管理(受診の見守り等)が甘いように感じる。 ● 生活の中での入浴、食事についての個別対応の話は聞けたが、余暇か自由時間の個別性や、特性に合わせた過ごし方等が少し不足しているように感じた。 ● 個別対応について、よくわからなかった。いわゆる「問題行動」と言われることが起こったとき、どう対応されているのかも記載されていれば良かった。 ● 加算に繋がる研修は積極的に受けていると思うが、支援に関する研修をどの程度受けており、職員で共有されているのかが見えなかった。人材確保、定着の視点から、大切なことだと思う。 ● 家族会は家族や入居者も望んでいるのか？ ● 個別支援計画に基づいた個別の支援を GH 全体できているのか？ ● 家族会の実施について前向きに取り組もうとされていることを心強く思う。無理のない形で継続してほしい。 ● 強度行動障害支援者養成研修を終えた方が3名いるのは強みである。活用を目標に取り組んでほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ● 家族との交流の場について、対応が色々増えたら良いと思った。地域連携推進会議の中で、家族が望んでいることも整理しつつ、GHとして対応できる中で取り組めたら良いと思う。 ● 限られた職員体制や環境下で工夫されていると思う。 ● 病院付添をしているのは、利用者の方やそのご家族にとっても心強いサポートだと思う。 ● 入所者の方が楽しむことのできる行事等工夫されていると思う。 ● 医療的ケアが必要な方が0人のため、どこまで受け入れ可能なのか具体的な対応ができるケア内容がわからなかった。 ● 看護師や病院と日頃から連携されていて良いと思った。 ● 利用者の方の希望を取り入れたり、職員の家庭料理を取り入れたり、地域や家庭に近いものを取り入れる工夫はすごく良いと思った。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 町内のイベントへの参加が希薄な状況。町内会加入を機に地域との接点を持つ必要がある。接点に関しては「行く」ことにこだわらず、GH内の活動を知ってもらうという動きはできないか。 ● 地域に知ってもらうことで、交流が始まっていくと思う。 ● 町内会に入会されるなど、一步一步取り組まれていることに感心した。入居者の状況や興味に合わせて無理なく進めてほしいと思う。 ● 毎日のイベントは工夫されていると思う。 ● 多出移動の支援はハード面、ソフト面の整備も必要だと思うが、最大限ご本人の希望に沿って対応されていると思う。 ● 提案にあった民生委員との繋がりは良いと思う。 ● 内容の精査が必要だと感じる。 ● 交流は大切な事だが、利用者の状況や障害特性を考えると、安易にオープンにするだけではトラブルに繋がらうと感じる。 ● 町内会に入会された一歩前進は良かったと思う。例えば、利用者全員で参加ではなく、1~2人の方と職員で行事参加でもいいので、とにかく姿を見せることが大切だと思う。 ● 何故地域との連携が大切かが無いので、町内会では継続できなくなると思う。 ● 災害時等の不慮の事案の対応は今後の課題だと思う。 ● 日々忙しいとは思いますが、地域で過ごしている以上地域の理解は必要だと思う。利用者達のためにも早く取り組んでほしい。 ● 外からの風を入れることは大切だと思う。町内会の役員や民生委員達にまずは知ってもらい、交流の場を増やすことができると思う。 ● 町内会入会まで進んだことは良いと思った。地域との連携について、GHとして考えていることなど整理しつつ、話し合いができれば良いと思う。 ● 地域を知ろうという姿勢は見えてきているので、知ってもらうということについても検討されてみると良いと思う。 ● 全員が町内会行事に参加とはいかなくとも、個別のニーズに応じて参加してもよいのではないかなと思った。 ● 災害時、少人数のスタッフでどう対応するのか？津波の対応は2Fへの避難で大丈夫なのか？ ● 利用者の参加が難しくても地域の行事に職員が参加することで、利用者が安全に参加するためにはどうすればいいか検討できるのではないだろうか。 ● 地域連携推進会議について、その会の目的を持って開催すると、参加メンバーが見えやすくなると思った。 ● 地域との交流の場がもっと増えると良いと思った。 ● GHや施設に対して悪いイメージを持つ地域住民の方もいるとは思いますが、知ってもらえる機会があると良いと思う。

4 地域移行等の促進
<p>(評価ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組みを行っているか。 <p style="text-align: center;">評価・要望・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民生委員の参加も含めて、地域に知ってもらう必要がある。 ● 地域連携推進会議を通じて、各支援機関や地域を担う町内会や民生委員と顔なじみになれば、できることが増えたり自己実現に繋がることもあると思う。 ● 見学に行きたいと思った。 ● 区分の高い方が多く、地域移行への取組みは大変かと思う。車いすの方が安全に外出できるようになったのは、素晴らしい成果だと思った。 ● (GH で暮らしていた方の一人暮らしの支援について)提案はしているとのことだが、提案だけでは現実難しいと感じる。準備や何が必要かを一緒に考えサポートする必要があると思う。一人で車いすの方が買い物に行くのを見守ったことがあるが、結果的な印象を受けた。支援であってほしいと感じた。 ● 1人暮らしについては、「できることを増やす」にとどまらない精神的なサポートも重要。何より利用者の希望や意向はどのようなのかも、次回知りたいと思う。 ● 利用者の方の評価の指標などがあると満足度等が把握しやすいのではないだろうか。 ● 双方間の取組みを活性化させてほしい。 ● 地域連携推進会議の中で色々議論できると思う。地域に知ってもらい、地域が求めること、GHとして地域に求めたいことの話合いが進むことを祈っている。 ● 1人暮らしを希望される方がいたときに、どのような支援経過を経て地域へ送り出していくかが見えてくると、いずれは1人暮らしをしたいと思っている方が入所希望をされても対応できるのではないかと思う。 ● 就労等の日中活動ができていられる方が多いため、もう少し日中活動が難しい方の受け入れをしてもらいたいと思う。 ● できることを増やしていくという自立支援の視点で動かれているのは、とても良いと思った。その方の力を生活の中で把握し、適切な居場所に繋げていくことが大切だと思った。 ● 完全に1人暮らし等の移行は課題が多いと思うが、部分的にでも移行していけるような取組みがあれば良いと思う。
5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域移行に向けて、GH側からも「こういった助けがあると移行が進みます」といったような意見を出してもらいたい。 ● 地域の緊急的な窓口になることを期待している。 ● 多忙な様子が伝わる。その中で取組みを重ねていくことが、大切かと思う。 ● (評価者の立場が今年度初めてで)どうしても家族目線になってしまうが、利用者の方がどうなのかの方が気になる。そのところがあまり分からず、評価も良いのかどうなのかが書けなかった。頑張っておられるので、今後も期待し、見守りたいと思う。安心して生活できる居場所のひとつであることを願っている。

事業所	C
-----	---

1 利用者の受入
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の受け入れは、病院からの退院者等で障害も区分5、6の方が7割を占めており、現在は満床だが積極的に受け入れていることが伺える。 ● 現在、6名が福祉サービス利用中で1名が介護保険との併給で通所デイを利用中。3名がGHにて日中の支援を受けながら生活している。3名については体調面や本人の気持ち等により、福祉サービス利用には至っていないが、本人の嗜好による活動や移動支援を利用しての外出などを行い、今後の生活構築のためにも、規則正しい生活リズムを崩さないような支援に取り組んでいる。

2 支援の実施
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● GHに日中おられる方の、通所等の福祉サービス利用に向けた具体的取組はしていないが、このままGHでだらだらと生活しないために、生活リズムの安定と本人ニーズの充足も含め、移動支援等を利用し外出などしている。外出先は、公民館や交通科学館、公園での散歩、買い物等が主である。また、GH内では、清掃の手伝いや個々に興味のあるパズルや塗り絵、文字書きなどを支援者と一緒に行っており、日中に何もしないような時間は可能な限りなくすようにしていることは、GH内での生活に完結しないように取り組んでいる。 ● GH全体の余暇として、バーベキュー等の行事を企画し、みんなで楽しんでいる。 ● 正規職員には、全員強度行動障害支援者養成研修を受講させ、昨年同様に支援の質の向上を目的として、事業所内での研修を行うことで支援体制の確保に取り組んでいる。 ● 医療機関との連携については、現在は、医療的ケアの必要がある利用者はいないが、定期の通院や検診時などには、通院同行し、状況の確認を必ず行っており、現状では問題なく連携が取れている。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組を行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 近隣住民との個別のコミュニケーションはあり、地域のお祭りなどに出かけるなどはしているが、町内会への参加やイベントごと等の参画は出来ていない。GHとしても課題であることは認識しており、町内会への加入等も考えているが、加入するのであれば、利用者の会費負担等を求められることや地域住民の障害に対する理解も個々に思いが違うこともあり、現状は昨年と変わっていない。このことについて、地域住民全員にすぐに理解を得ることは難しいと思うが、地域の行事等への積極的な参加と理解の啓発のために、地域との積極的な交流をするため、GHに来てもらえるような工夫も必要ではないか。

4 地域移行等の促進
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組を行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 重度障害者を積極的に受け入れており、自立に向けた第一歩として、日中の過ごし方などの工夫は評価できる。 ● 地域移行等の取組については、自立に向けた個々の取組が必要であり、GHという集団生活ではあるが、GHとしての絶対を守るべきルールは守ってもらいつつも個々の現状の力を確認しながら、自分の出来ることやニーズを確認して、個別に対応することが本人の自立に向けた取組みとして、経験や体験を積み重ねとなり、地域移行や地域生活の継続につながっていくことになるため、集団としてひとくりにするのではなく、個々の実態に即した支援も重要である。 ● 地域の構成員としての社会参加も地域移行に向けた重要であるが、3で記載したとおり、現状、その部分がGHの課題として認識されているので、今後の取組みが期待できると感じた。 ● GHの利用者だけでなく、在宅の障害者の緊急時の短期入所等の役割も担っていただいているところだが、緊急時のみでなく、親亡き後の生活を見据えて、体験の機会としての短期入所利用も積極的な受け入れの要望をした。(現状では、大体短期入所は満床状態とのことであった。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 全体的にみて、個別にみれば課題があるが、そのことは認識されており、それらを解決するために取組んでおられると感じた。 ● 利用者個々への支援も、課題は認識しつつも、非常に丁寧に、利用者個々を尊重しながら支援されている様子が伺えた。

事業所	D
-----	---

1 利用者の受入
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者は積極的に受け入れ、現在満床。区分4以上(区分6は1人)の利用者が15人で重度の方を受け入れられている。 ● 利用者の中には、軽・中度の方がおられることについては、区分に表れていない課題等があり、受け入れているということであるが、区分1、2の方については、課題面等の改善傾向にあるため、日中型 GH から他類型の GH への転居も検討していくとのことであった。 ● 改善傾向にある方については、より適切な GH への転居をしていただき、(日中型 GH の)専門性を生かしたして、また新たな利用者の支援をしていただきたい。

2 支援の実施
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● GH でのプログラムは昨年同様、多彩であり本人の意思で参加しやすいように工夫されている面で非常に評価できる。 ● 本年は集団ではなく個々のニーズに則した支援を重視しており、買い物、通院、行政手続き等様々な面で付添ながら、本人の特性や能力等を図りながらしてあげる支援ではなく、出来ることは自分でできるような支援を重視し、自立に向けた支援に繋げようとしていることは非常に評価できる。しかしながら、このような支援をするための支援者が少ないという意見があった。 ● 現在、福祉サービス事業所への通所者は8人、12人がGHで過ごしているが、個々の状況を見ながら、本人の同意も得ながら、近隣の福祉サービス事業所の協力を得ながら、見学や体験を行い、出来るだけ地域で活動していけるように取り組んでいることも評価できる。 ● 管理者、サービス管理責任者は強度行動障害者支援者養成研修を受講しており、会社全体の研修及び事業所内での研修等も実施し周知するようにしている。 ● 現在は、医療的ケアが必要な利用者はいないが、医療機関との連携については、昨年と同様に通院同行、訪問診療、訪問リハ、訪問歯科、訪問看護、精神科訪問看護等個々に対応できる連携を講じている。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度の提案を受け、GH が主催して、地域住民等に理解の促進を図っていたが、今年度は「来てもらう」ではなく「地域の積極的に出ていく」ことを主として取り組まれており、積極的に地域のイベント等に地域住民として参加する機会を確保していることは非常に評価できる。 ● ただ、今年度はまだ GH 主催のイベント(年度末当たりで考えているとのことだが)は開催出来ていないということであったため、利用者が地域の構成員として、積極的に地域に出ていくことは、利用者一人一人にとってはとても重要なことではあるが、GH としては、地域住民に対し、障害への理解促や啓発等のために、「来てもらう」ということもとても意義のあることであることを伝え、その両方の取り組みが充実すると素晴らしいと思うので、是非、取り組んでほしい。

4 地域移行等の促進
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者のニーズや現状の個々の持つ能力を図りながら、個別に生活技術の習得を目的として取り組まれており、自立に向けた取り組みとしては非常に評価できる。その中でも、個別のニーズに応じ、GH を地域移行の最終地点とせず、一人暮らし等も視野にいれながら、本人がイメージしやすいように福祉住宅の見学を行うなどの取り組みは非常に評価できると思う。 ● 個々の生活技術の獲得に向けた取り組みとして、GH 内での工夫により、出来ることなどの具体例を挙げて、取り組んでみてはどうか。 ● 在宅の障害者の緊急時の短期入所等の受け入れも、同系列の GH と連携し、事業者のスケールメリットを生かして受け入れている実績があることについては、地域生活支援の中核的役割を担うという面では、とても理解され取組まれていることは非常に評価ができると思う。 ● 緊急時の受け入れに対して、利用者と事業者の両方の安心・安全と親亡き後の生活に対する平時からの自立生活の経験・体験の機会の場としての短期入所利用ということも協力してほしい。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に高い理念を持ち、取組まれていると感じた。 ● 特に、利用者の主体性や意向の確認のために、多くのプログラム等の中から利用者本人が意思決定できる選択肢を準備していることについてとても素晴らしいと感じた。 ● 地域移行や地域生活の一翼を担う事業所でありながら、面的整備型である本市において、サービス事業所が地域生活支援拠点として位置づけられておらず、緊急時の短期入所の受け入れや、自立生活のに向けた経験・体験の機会の場としての機能を果たしていただけている事業所に対し、地域生活支援拠点事業に係る加算算定が出来ていないことについて、面的整備としての体制整備として早急に取り組み、日中型 GH も含め、福祉サービス事業者に地域生活支援拠点として位置づけられ、事業者の理念や思いだけでなく、取組みに対しての報酬上の担保(地域生活支援拠点等に係る各種加算)をしていくことが重要であるということ、聞き取りをしながら、強く感じた。

事業所	E
-----	---

1 利用者の受入 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 現在満床。 ● 利用者は、区分4が1名、区分5が2名、区分6が5名で、すべて強度行動障害のある方となっている。利用申し込みは軽度の方もおられるが、日中型 GH の趣旨を説明し、重度利用者の方を積極的に受け入れるようにしている。業務趣旨を理解し、利用者を受け入れている姿勢は非常に評価できる。 ● 医療的ケアの利用者は現在いないが、事業所で責任を持って対応できる医療的ケアの範囲内であれば、積極的に受け入れようと考えている姿勢が伺えた。

2 支援の実施 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度と支援方法は変わっていない。利用者自らの発信が難しい方には、提案し、発信がある方にはその意向に沿いながら、支援(対応)するように心がけていることは、意思決定の観点からも評価できる。 ● 日中は通所事業所に行かれる方と GH で過ごす方の両方がおられるが、GH で過ごされる方については、まずは生活リズムを整えて、通所ができそうな方については、同法人が運営する生活介護事業所も含めて検討をしているなど前向きに地域生活に向けて取り組んでいる。 ● 強度行動障害支援者養成研修は、支援員は全員受講するようしており、適切な支援ができる体制を整えている。 ● 医療連携については、医療的ケアが必要な方はおられないが、精神科は支援者の同行を基本とし、家族が同行される場合は通院後報告してもらうようにしている。その他体調不良等時の通院についても基本同行している。特に精神科通院に関しては、意思との連携は意識的に図るようになっている。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年同様に利用者個々が町内会に参加はしていないが、GH として賛助会員として参加し、地域行事等にも参加できるように取り組んでいる。日常では、近隣の方々との挨拶などを積極的に行い、コミュニケーションを図るよう意識的に取り組んでおり、今後も継続していくが、その結果として、近隣の方も障害者 GH の存在は理解していただいていることは、GH の成果であり評価できる。更に、支援者が積極的に関わりを持つことは非常に重要だが、その先に利用者がある中に加わることができるようになれば良いのではないかと。 ● また、地域に出向くだけでなく、関係構築と障害者理解を深めるために、GH に来てもらうというアプローチを試みるのも良いのではないかと。

4 地域移行等の促進 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年同様に、業務趣旨を理解し、重度の障害であっても地域生活ができるように取り組む姿勢は非常に評価できる。そして、障害が重くても、自分で出来ることについては支援付きで自分で行うという取り組みは地域生活の継続だけでなく、自立に向けての取り組みであるため、積極的に継続してほしい。 ● 地域生活の中核を担う GH として、家庭生活で困難が生じ、家族等も精神的に追い込まれているケースなどの一時的な短期入所の利用も基本的には断ることなく受け入れていることについて非常に評価できると感じた。人員等の配置も利用者の状態に照らし合わせると十分とは言えないということもあると思うが懸命に支援をしているという様子が伺えた。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 人員配置の基準や人員配置加算の要件緩和等の要望もあり、非常に人的に厳しい中でも業務趣旨を理解して、取り組んでいる様子が伺えた。現状では算定できないが、地域生活支援拠点に位置付けることにより、緊急時等に短期入所を受け入れた場合や地域生活や自立に向けた経験や体験の機会の場合として取り組まれることに対する加算もあることを伝え、その時にはその加算も取得してもらい、更に、地域生活支援の中核を担う日中型 GH として頑張ってもらいたい。 ● 地域移行や地域生活の一翼を担う事業所でありながら、面的整備型である本市において、サービス事業所が地域生活支援拠点として位置づけられておらず、緊急時の短期入所の受け入れや、自立生活のに向けた経験・体験の機会の場合としての機能を果たしていただけている事業所に対し、地域生活支援拠点事業に係る加算算定が出来ていないことについて、面的整備としての体制整備として早急に取り組む、日中型 GH も含め、福祉サービス事業者に地域生活支援拠点として位置づけられ、事業者の理念や思いだけでなく、取り組みに対しての報酬上の担保(地域生活支援拠点等に係る各種加算)をしていくことが重要であるということ、聞き取りをしながら、強く感じた。

事業所	F
-----	---

1 利用者の受入
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 現在満床。強い行動面での課題を抱える利用者は少ない印象のだが、区分4以上が25名、区分3が5名で、障害の重い方の受け入れは積極的に受け入れられている。 ● 受け入れに関しては、本人の意向を尊重するために、体験等を実施して出来るだけ本人が安心できる体制で受け入れていることについては評価できる。 ● 本人の状況により、行動及び情緒面等の課題が改善傾向にある方は、他類型の GH 等への移行にも取り組んでいただき、日中型の専門性を生かして、新たな利用者を受け入れ、支援してほしい。

2 支援の実施
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 同法人の同類型の他 GH と同様に非常に多彩で本人の意思を確認しながら参加できる工夫がされているのは非常に評価できる。具体的に、行事等は移動への支援が必要な方は同行し、自分で行きたい又は行く力のある方は現地集合にするなど、個々に必要な支援を講じながら自立に向けた取組みをされていることは非常に評価できると感じた。 ● 強度行動障害支援者養成研修は、常勤者は全員が受講してもらおうようにしている。 ● 医療との連携は、現在医ケアの利用者はいないが、利用者に対しては、訪問歯科、内科と訪問看護を利用して細かく医療面について把握に努めている。精神科通院は知的障害の方は基本、同行又は家族の同行で精神障害の方は、自力と同行のいずれかで対応している。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の夏祭りの事業所として協賛したり、町内会の草刈りに参加したりするなど、地域住民として参加する機会を確保していることは非常に評価できる。 ● また、地域に出ていくこと以外に地域の方を GH に招いてイベントを2月に予定しているということで、地域との交流の機会を GH 内外で確保している面でも評価できる。 ● 上記の取組みは、利用者の地域住民の構成員としての意識向上と地域の障害者理解にも直結するものなので、利用者個々が安心して地域での生活ができるよう個々に必要な支援を講じながら、引き続き実施してほしい。

4 地域移行等の促進
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域生活を継続するために必要な取組みをされていることについては評価できる。 ● 日中型 GH での生活を経て、課題改善が見られ、その人は1人暮らしを希望されているとのことだが、その意向の実現のために、段階的にまずは、他類型の GH への移行に向けた支援を行っているとのことであったため、一人暮らしを希望するが具体的な生活のイメージが出来ていない利用者が多いことを伝え、その場合に、一人暮らしをイメージしてもらうために、GH で可能な限りの自立に向けた疑似体験等の具体的な内容を伝えた。 ● 在宅の障害者の緊急時の短期入所等の受け入れも、同系列の GH と連携し、事業者のスケールメリットを生かして受け入れている実績があることについては、地域生活支援の中核的役割を担うという面では、とても理解され取組まれていることは非常に評価ができると思う。 ● 緊急時の受け入れに対して、利用者と事業者の両方の安心・安全と親亡き後の生活に対する平時からの自立生活の経験・体験の機会の場合としての短期入所利用ということも協力してほしい。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に高い理念を持ち、取組まれていると感じた。 ● 特に、地域生活を継続するための、地域への事業所と利用者の参画について積極的に取り組まれていることについては、障害者への理解促進にもつながることであるため非常に評価できると思うし、今後も積極的に取り組んでほしいと感じた。 ● 地域移行や地域生活の一翼を担う事業所でありながら、面的整備型である本市において、サービス事業所が地域生活支援拠点として位置づけられておらず、緊急時の短期入所の受け入れや、自立生活のに向けた経験・体験の機会の場合としての機能を果たしていただけている事業所に対し、地域生活支援拠点事業に係る加算算定が出来ていないことについて、面的整備としての体制整備として早急に取り組む、日中型 GH も含め、福祉サービス事業者に地域生活支援拠点として位置づけられ、事業者の理念や思いだけでなく、取組みに対しての報酬上の担保(地域生活支援拠点等に係る各種加算)をしていくことが重要であるということを、聞き取りをしながら、強く感じた。

事業所	G
-----	---

1 利用者の受入 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 今年開所し、現在は18名が利用している。内訳は区分4以上が14名と重度の方を中心に積極的に受け入れている。区分3の方は中度障害者の方ではあるが対人等に課題があり、通所等が困難であるとのことで受け入れたが、課題改善の傾向もみられるため、3名については他の GH への移行も視野に入れ支援を取組んでいる。(担当の相談支援専門員にも相談している) 重度の方を積極的に受け入れる姿勢と課題改善が伺える方については、他類型の GH への移行も視野に入れ取組まれていることは評価できる。

2 支援の実施 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的に個々の生活スタイルを尊重しながら必要な支援をしながら、見守り及び求めに応じて個々に対応しているため、個別に段階を見ながら、福祉サービス等の利用への促しを行っていることについては評価できる。余暇についても、利用者の意見を聞き、行事などを行っている。また、支援度に応じ、買い物同行など等の支援を実施している。 ● 強度行動障害支援者研修については、現在修了者は1名だが、今後職員全員が受講していく予定である。 ● 医療との連携については、医療ケアが必要な方は現在いないが、精神科等の通院は、支援者が同行することを基本としているが、家族の同行が可能な方は家族の同行で、確認をしている。精神障害のある方については必ず訪問看護を利用していただき、こまめに医療との連携が図れるよう取組んでいる。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● まだ開所して日が浅いこともあり、地域の方を招いての説明会や利用者が地域の行事等に参加するなどの取組み等は出来ていない。 ● まだ地域との交流ということについては出来ておらず、今後の方策として、利用者がいきなり参加することは無理や誤解が生じる可能性もあるので、まずは GH として支援者が主となり地域の行事等に参画しながら、その後利用者も一緒に参加するなど段階を踏み、障害者への理解促進を図り、利用者が地域住民の構成員として参加できるように取組むことが重要なのではないだろうか。

4 地域移行等の促進 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者個々に対し、利用者の意向を最優先し、必要以上に関与するのではなく、必要な関与や求めによる関与を基本的に行っていることは、利用者の自立への促しや自主性を育てることにつながると評価できる。また、病院からの受け入れや、緊急の短期入所の受け入れもこれまで3名の方を受け入れており、基本的には断ることなく受け入れていることは評価できる。今後も積極的に入居の利用者だけでなく、地域の重度障害者の緊急時の一時的な受け入れ先として地域生活支援の中核的役割を担ってほしい。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の意思を尊重して支援しようという姿勢が伺えた。しかしながら、まだ地域との交流などの取組みは出来ていないので、今後は地域交流も含めて利用者が地域の構成員として地域生活が送れるよう取組んでほしいと感じた。 ● 地域移行や地域生活の一翼を担う事業所でありながら、面的整備型である本市において、サービス事業所が地域生活支援拠点として位置づけられておらず、緊急時の短期入所の受け入れや、自立生活のに向けた経験・体験の機会としての機能を果たしていただけている事業所に対し、地域生活支援拠点事業に係る加算算定が出来ていないことについて、面的整備としての体制整備として早急に取り組み、日中型 GH も含め、福祉サービス事業者に地域生活支援拠点として位置づけられ、事業者の理念や思いだけでなく、取組みに対しての報酬上の担保(地域生活支援拠点等に係る各種加算)をしていくことが重要であるということ、聞き取りをしながら、強く感じた。

事業所	H
-----	---

1 利用者の受入 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な障害に対応できるようにハード面での整備を考えられていた。 ● 多職種との連携を大事にして利用の受け入れのハードルを下げていることがわかった。 ● 医療的ケアが必要な利用者の受け入れは、常勤の看護師が不在のため難しいことが分かったが、できる限り何とかしようという姿勢は窺えた。ただ、医療的ケアの必要な方の受け入れについては、基本的な基準を定めておいてもよいと思った。 ● 今後、入居者にとって、エレベーターに鏡を設置することで移動が容易になる場合には、設置を検討してみてもどうか。 ● 人員体制や設備を整え、主治医や訪問看護ステーション等と連携することで、看取り期の利用者への対応も行われている。 ● 看護師の配置はないが、設備も整えられ、看取りの方へ主治医や看護師と連携を取りながら支援が行われていることが分かった。

2 支援の実施 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 強度行動障害のある利用者への対応方法を個別に検討するなどして、施設全体で取り組んでいることが分かった。 ● 外出については移動支援を利用することが多いが、中々、移動支援を受けてくれる事業所が少ないという現実があるため、可能であればボランティア等の活用ができればよいと思った。 ● 今後、入居者にとって、エレベーターに鏡を設置することで移動が容易になり、外出のハードルが下がるのであれば、設置を検討してみてもどうか。 ● レクについて、すでに人気のあるレクは大事にしなが、普段参加されない利用者がおられたら、その人に合わせたレクを企画してみてもどうか。 ● 利用できる入居者は限られるかもしれないが、施設近隣で行っている地域介護予防拠点の利用も検討されるとよいと感じた。 ● 本社からの動画配信による研修、先輩職員によるOJT等を実施し、人材育成や質の向上に努めている。 ● サービス管理責任者が24時間対応の携帯を所持し、緊急時の対応が出来るように体制が組まれていることが分かった。 ● 利用者の多くが日中活動サービスを利用されていることがわかった。狩留家ではボランティア活動も行われているので、外出支援などの相談ができればよいのではないかなと思った。 ● 現在は、日中に作業所や生活介護サービスを受けに行かれている利用者が多数おられるが、今後、医療的ケアを必要とする利用者への支援やグループホームで日中を過ごす利用者が増えることを考えると、看護師や人員の配置の検討が必要ではないか。 ● 狩留家地区は無医村のため、今後さらなる高齢化や重度化への対応として、医療面の体制の構築に取り組んでいただきたい。 ● 地元の狩留家地区社協との関わりを通じて、定期的に地域コミュニティとの交流を持たれていることは素晴らしいと思った。 ● 公共の交通機関が乏しいなか、日中活動によく参加していると感じた。日中事業所の送迎がないために行き場がないというケースがないことを願う。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の行事等に参加する機会をつくる姿勢がみられた。さらに実践可能かどうか分からないが、地域内で行っている百歳体操などの拠点事業に参加できれば利用者の介護予防になるだけでなく、地域住民の障害理解にも繋がるのではないかなと思った。 ● 今後、地域連携推進会議が実施される中で、施設内に地域住民の人も訪ねてこられる機会がもたれる。会議の場を、地域の人との交流の機会のきっかけのひとつとして、ボランティア活動ができる場所、一緒に楽しむ機会、交流スペースとしての活動場所の提供などを検討してみてもどうか(高齢者のいきいきポイントを押しもらえる場所として登録する等)。 ● 地域行事(祭り、芋煮会)に参加する等、地域交流に積極的に取り組まれていると感じた。 ● 地区社協に理事としてかかわっている点や、参加ができる利用者の方は芋煮会などの行事に参加していることは良い取り組みだと思った。 ● 日中活動に参加している利用者にとっては、地域生活をイメージできるが、医療的ケアを必要とし日中を過ごす利用者や保護者にとっては、日中活動、医療、制度等、トータル的に本人の暮らしを支えられる移行プランを提供していただきたい。 ● 地域的に過疎・高齢化が進み、地域住民との交流も限られている中で、関わりをもっておられると思った。今後も継続してつながりを持ってほしい。

4 地域移行等の促進 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の環境に馴染めずに地域移行したケースがあったが、完全な地域移行をする前に、一旦、包括型グループホームへ入居し、そこで練習してから地域移行していく流れを作ってもよいと思う。 ● 様々な理由や背景がある中で、GHの利用を開始した方もおられるかもしれないが、地域移行の選択肢が誰にもあることを共有し、日々の支援、地域生活を送れるための様々な準備(本人、地域)が出来ていくと、地域移行を選ぶことができる方も出てくるかもしれない。 ● 入居者から退居の意向があった際には、他施設への見学調整や見学同行、相談支援専門員との連携等を行っており、適切な地域移行支援が行われていると感じた。 ● 退居される際には、施設の見学などの支援が行われていることがわかった。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)

事業所	I
-----	---

1 利用者の受入 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 現在は、気管切開や酸素療法などの医療ケアが必要な方は入居されていないということだったが、常勤の准看護師が褥瘡予防処置や自己注射などの医療的ケアを行っており、嘱託医や歯科医、訪問看護師等と連携を図りながら、病気の予防と早期発見に努めていることが分かった。 ● 区分4以上の入居者が75%入居、平均年齢も45歳以上と比較的高い印象を受けた。 ● 看護師の配置が2人しかいないため、夜間など含め緊急時の対応が難しいことが考えられるため、今後の人員配置を検討していただきたい。 ● 障害支援区分4以上75%、身体障害者手帳保持者の新規受入の実績があり、重度化を意識した受入をしている。 ● 短期入所の利用者は増えてきているが、医療的ケアが必要な方の利用はない。今後のことを考えると、在宅の医療保険サービスとの連携強化、夜間帯の看護体制、もしくは痰吸引や胃ろう等の管理の研修を少しずつでも進めるなどして、どこまでの医療的ケアであれば受け入れ可能かについて具体的な検討を短期入所利用者から始められてはどうか。 ● 重度化・高齢化を見据え、車いすで入浴できる設備や広いエレベーターなど、ハード面が整っていると思った。トイレはカーテンでの仕切りについて、プライバシーの面で自分が利用する立場であれば抵抗があった。 ● 短期入所利用者が増えているとのことで、職員体制などご苦労されていると思う。

2 支援の実施 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 家族会の結成はされたほうが良いと思う。家族の思いや希望を聞くことで本人の生活の安心や充実につながっていくと思う。 ● 強度行動障害のある方が5名入居されており、強度行動障害支援者養成研修を修了した職員を2名配置しておられ、職員配置の努力が伺えた。 ● 前年に比べ、5人の強度行動障害がある入居者を受け入れており、人員配置もされており素晴らしいと思う。 ● 日中活動が困難な入居者3人に対して医療的なサービスを組み込んで支援をされている。休日の過ごし方についてニーズが多岐にわたるため、難しいと思うが、引き続き日中活動を充実させてもらいたい。日頃の余暇活動の写真を見せていただいたが、入居者の方々の嬉しそうな表情がとても良かった。 ● 現時点では医療的なケアを必要とする利用者の受け入れはされていないが、歯科は全員定期受診ができているなど、状況に応じた対応をされている。 ● 強度行動障害者支援研修修了者が配置され、強度行動障害加算対象者5名が入居している。 ● 見学时に行事や日中活動で製作物や外出時の写真を見せていただき、活動の幅を広げて利用者へ提供をされていることがよく分かった。 ● 嘱託医の協力のもと、重度者も含めた全員の定期的な歯科受診ができるような体制をつくられている。 ● 訪問看護や訪問リハビリの外部医療保険サービスの事業所と連携して、体調管理や支援方法等の助言を受けており、重度者の心身の状況に応じた支援に努力されている。日常的な医療的ケアが必要な方の受け入れは、現段階では看護体制上難しいが、今後の受け入れの方針を示してもらえると良いと思う。 ● 活動やイベントの様子を写真で見せていただき、利用者の方にクッキングなど楽しい活動を提供されていることがわかった。 ● 日中活動サービスを利用しない方と地域の方が交流できるような活動があれば良い。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化の進む団地の中での住民との交流は難しいことも多いと思うが、参加することだけではなく、地域の方がホームを訪れての交流をぜひ実行してほしいと思う。地域との関係性は難しそうなお印象を受けた。 ● 町内会に加入し、地域の各種イベント(清掃、防災祭り等)に職員と利用者が参加しており、地域住民から温かい声をかけてもらえるとのことで、少しずつ地域の理解が得られていることが伺えた。 ● 施設は急勾配の団地に位置し、住民の高齢化が進んでいる。施設で定期的に行っている理美容を地域住民にも利用してもらうことを検討しておられ、地域住民との交流を促進する方法として良いアイデアであると感じた。 ● 管理者の変更や自治会長の交代により今後の関わり方について、悩みもあると思われる。徐々に関係構築を図りながら、地道に交流を進めてもらいたい。 ● 管理者からのお話にあった訪問医美容の利用を地域住民にも提案することについては、坂の上にある団地で、近くに必要なお店など少ないことから、喜ばれることではないかと思われるので、ぜひ取り組んでいただきたい。 ● 地域交流スペースがあるため、圏域の包括支援センターと連携し、地域の活動に場所を提供するなどを行うと、関わり方も選択肢が増えるのではないかとと思われる。 ● 地域の自治会活動、イベント、清掃活動に、利用者も一緒に参加して、地域交流に取り組んでいる。 ● 自治意識の高い団地での地域交流、障害理解の促進に苦慮しつつ努力されていることを感じる。 ● 移動販売や訪問美容等、施設利用者が外部資源を活用する際に、地域住民もそのサービスが利用できれば、交流のいいきっかけになると思うので実現してほしい。また、地域包括支援センターと連携して、講演、勉強会等への協力、地域住民との繋がりや地域防災等の顔つなぎ等お互いに活かせる繋がりがあると思う。 ● 感染症により延期となっている家族懇談会は家族会の足掛かりとして考えておられるということなので、実施に向けて調整いただくと良い。

4 地域移行等の促進 (評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域移行の促進については入居者一人一人の生活状況や希望を考慮しながら検討していくものであるため、引き続き丁寧に取り組んでいただきたい。 ● 開設に至る経緯から、地域移行に関する取り組みは難しい印象を受けた。 ● 短期入所は積極的に受け入れており、今後も継続していただきたい。 ● 1~2人の利用者が先々の移行の対象者となる可能性があるなら、今後の本人の意向や環境設定など対応していただけるようになることを期待している。 ● 入居者に地域移行の希望が少ないのかもしれないが、希望があった際に、施設として具体的にどのように移行支援を進めていくか、提供できる情報や地域での繋がりを作っていただきたいと思う。 ● 短期入所の受け入れ数は昨年度より3倍程度増加している。送迎範囲の拡大等、利用者の利便性向上に努められている。 ● 立地をハンディキャップと思わず、団地内の空き家や工場を資源として何らかの地域移行の取り組みに活用したいという思いが実現できると良いと思う。地域調査や利用ニーズがあるかを検討するなど、具体的な計画を立ててみるのも良いと思う。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度、管理者の変更があり把握が大変だったのだろうという印象を受けた。入居者の経済状況における対応や地域との連携など、少しずつ取り組んでいただきたい。 ● 施設のハード面において重度化対応が十分可能な設備を整えられていることが分かった。 ● 医療的ケア対応について、どこまでの範囲であれば受け入れができるのかを具体的に検討していただける機会を作ってください、重度化、医療的ケアを必要とする利用者の受け入れや、現在の利用者も希望があれば将来的に医療的ケアを必要とする状況になった時や加齢による難しさが出たとしても、住み慣れた地域、場所で過ごせるよう継続した利用が可能な体制を作ってくださいと思う。

事業所	J
-----	---

1 利用者の受入
(評価ポイント) ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
● 強度行動障害の方なら、たくさんの方を受け入れておられ、地域の中で重要な役割を担っていると思った。 ● 障害が重いこと、強度行動障害が厳しいこと、職員体制などで、受け入れが断られることがないことを願う。 ● 強度行動障害の方を受け入れて頂けるのは、大変心強い。他害、自傷行為のある方が現実的に利用できる事業所が少ないので。 ● 重度の方の受け入れを積極的にされ、利用者さんのやりがいや楽しみにつながる取り組みをされていると感じた。

4 地域移行等の促進
(評価ポイント) ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。
評価・要望・助言
● 本人を中心に地域移行が進み、地域全体が理解し、支えていける世の中になればと思う。

2 支援の実施
(評価ポイント) ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
● 地域のお祭りには積極的に参加されており、利用者さんの生きがいにつながっていると感じた。 ● 障害や特性に対し、本人理解(アセスメント)に基づき、エビデンスのある支援をお願いしたい。 ● 病院に行くのが難しい利用者さんに訪問看護や歯科受診はとても良いことだと思った。 ● 県外に拘らず近くでも(県内)、季節に合わせていく場所を決めても良いと思う。季節を感じることは大切だと思う。 ● 人材育成に力を入れ、支援につなげられていると感じた。 ● 夜勤の強度行動障害資格者の配置が足りないように感じた。専門的知識が必要と感じる(区分5, 6の人数に対して)。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)

3 地域に開かれたサービス
● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
● お祭りの中で事業所の紹介もあり、近所の方との交流も積極的に行っていると思った。 ● 地域に開かれた施設であることを願う。 ● 個人や集団に合わせた活動をされていることが伝わった。

事業所	K
-----	---

1 利用者の受入
(評価ポイント) ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
● 難しいケースの方を受け入れられており、ありがたいと思う。 ● (一般論として)障害が重たいこと、強度行動障害が厳しいこと、職員体制などで、受け入れが断られることがないことを願う。 ● 強度行動障害の方を受け入れて頂けるのは、大変心強い。他害、自傷行為のある方の受け入れ先が現実的になかなかなく、利用できない方がいるため。 ● 親亡き後の子ども達の居場所を作っていただき、障害のある子を持つ親としては感謝しかない。医療と福祉を中々考えの違いもあるが、連携をしっかりとされているようで安心できるといった。 ● 緊急対応が必要なケースを柔軟に対応され、重度の方の受け入れも積極的にされており、地域の貴重な資源だと感じる。

2 支援の実施
(評価ポイント) ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
● 送迎時、リビングスペースに季節の装飾がされているのを見かけるが、利用者(入居者)が実際に楽しんでそのことに参加された様子などを、ご家族や連携機関にもどんどん共有して頂きたい。 ● こちらのグループホームを利用されている方が、当B型就労継続支援施設を利用されており、健康補助で不安を訴える利用者さんに、グループホームの職員さんが付き添ってくれた。利用者さんが安心して過ごされるために、色々尽力してくれてありがたい。 ● 障害や特性に対して、本人理解(アセスメント)に基づき、エビデンスのある支援をお願いします。 ● 無資格者の配置に関しては、社内研修、専門知識等、生活をサポートしていく上で必要な知識なので、今後は資格取得を目指したOJTを期待する。

3 地域に開かれたサービス
● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
● 地域の行事に参加するだけにとどまらず、まずは職員の方から地域の中で積極的に役割をもって、何か取り組んでほしい。 ● 買い物当と一緒に同行してもらえただけでも気分転換になると思う。 ● 地域に開かれた施設であることを願う。 ● もっと地域と関わるように、秋祭り以外でも参加できるようにしたらどうか。(地域の清掃活動など)まずはどんな所か、どんな利用者か知ってもらい、安心してもらえるように色々参加していくことも大切だと思う。 ● 精神障害というと「怖い」と思う人が多いので、どんな障害なのか知ってもらえる所からスタートしたらどうか。 ● 前年と比べて地域のイベントに参加する回数を増やすなど、改善への取り組みは評価できる。

4 地域移行等の促進
(評価ポイント) ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取組みを行っているか。
評価・要望・助言
● 多職種連携によるクルーがホーム運営に力を入れているとのことで、訪問医療サポートも積極的に入っており、課題の多い利用者さんにとっては心強いと思う。 ● 本人を中心に地域移行が進み、地域全体が理解し、支えていける世の中になればと思う。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)

事業所	L
-----	---

1 利用者の受入
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な方の受入れをされていて、地域の資源として頑張っておられる。 ● 強度行動障害により家庭生活や事業所への通所が難しくなっている方を受け入れられており心強い。 ● 緊急時受入れ対応をされており、地域の中で大切な資源と感じる一方、限定的な特例加算など報酬制度の不備を感じた。 ● 職員のモチベーションが高く、様々な利用者の受入れに柔軟に対応できていると感じた。

2 支援の実施
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 土日の外出など、積極的にイベントに参加されており、利用者が楽しめるようにいい取り組みをされている。 ● 医療の連携もとっており、利用者も安心して過ごされていることと思う。 ● 民生委員からの情報などから地域で利用できる場を増やされている。 ● 毎週土日に外出企画などを実施しているのはなかなか大変だと思うが、工夫して実施している様子が伺えるので、ぜひ継続してほしい。 ● 医療との連携が増えていて素晴らしいと思う。 ● 利用者のことを熱心に考えて支援しているのが伝わった。 ● 外出をたくさんされており素晴らしいと思う。 ● 食事を手造りで調理提供し、みんなで食事をされているので、利用者の嗜好にも対応しやすく家庭的な雰囲気を楽しめることができると感じた。 ● 余暇活動については地域に出ることを意識されており、利用者の社会参加の機会を大切にされている。事業所のスタッフだけで個別外出の支援に対応できており、普段関わっている支援者であるため、利用者の夢や希望に向けたステップ化や社会生活力をつけていくことなど、一貫した支援に繋がりがやすいと感じた。 ● 外出レクの内容や頻度から利用者を楽しんでもらいたいという気持ちをとても強く感じた。 ● 利用者全員が訪問看護を利用したり、内科・眼科・歯科の往診を始めるなど、他 GH の取り組みを聞き、その良い部分を取り入れるなど努力されていることを感じた。 ● 強度行動障害の利用者への活動の取り組みもしており、普段と違う余暇制度の提供は大変だと思うが、積極的に続けてほしい。 ● 職員の土日出勤の仕組みを工夫し、そこから余暇活動が日中活動の充実につながられていることが勉強になった。GHを生活の場としてだけでなく、体力や ADL の維持向上、趣味や社会活動、コミュニケーション能力の向上など、利用者の今と今後の人生に寄り添いながら提供されているのだと感じた。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域との交流もできておりよいと思う。 ● 民生委員とのつながりを通して地域とのつながりが定着してきていると感じた。

4 地域移行等の促進
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域への移行で難しいところもあるが、利用者のことを優先して見ており、今後もいい繋がりの継続を期待している。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ●

事業所	M
-----	---

1 利用者の受入
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 日中サービス支援型共同生活援助の制度の趣旨を理解し、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することが困難である障害者を積極的に受け入れているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 区分の高い方の受入れもされている。男子棟、女子棟で分けてあり、ご家族の安心感につながっていると思う。 ● 幅広い年齢の人を受け入れており、評価できる。 ● 日ごろの健康管理や利用者が安心した生活を送るためにも看護師が2名いるのは強みである。今後、医療的ケアが必要な利用者の受入れについても期待したい。 ● 元々が包括型であるので難しいかもしれないが、重度の方も受入れられるようにハード面が整うとありがたい。 ※令和6年12月に介護サービス包括型から日中サービス支援型に類型変更

2 支援の実施
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が充実した地域生活を送ることができるよう、日中における余暇活動や外出等の社会生活上の支援を行っているか。 ● 利用者の意向に反して日中活動サービス等の利用を制限していないか。安易に住居内で生活を完結させていないか。 ● 強度行動障害支援者養成研修修了者の配置等により、強度行動障害のある者への支援体制を確保しているか。 ● 協力医療機関等との連携により、利用者の心身の状況に応じた医療ケアを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物支援、バーベキュー(年1回)、地域の花火大会への参加、栄養管理などしっかりとされている。今後、利用者の体調管理など訪問系サービスを考えておられるので、実施されることを望む。 ● GHでの過ごし方や食事のタイミングなど利用者本人の思いを汲んで対応されている。 ● 外出レクなど利用者と共に楽しめる活動が増えていったらいい。 ● 集団生活の中で利用者個々への細やかな配慮がされており、将来的につけていきたい力についても個々の利用者に合わせて支援をされている。一人ひとりを考える支援は利用者の安心感や前向きな力となっており、今後も続けてもらいたい。 ● 土日の余暇活動については、土日勤務のスタッフ数に限りがあり、活動の展開に難しさを感じられている様子。無理の少ない範囲から実施されて展開されてはどうか。 ● 重度障害の方や医療的ケアが必要な方にも寄り添いながら、様々な支援ができていますと感じました。 ● スタッフ不足で土日の取り組みが十分できていない状況。 ● 現状、土日は帰省する利用者が多いとのことだが、重度化や高齢化して帰省しない状況になった時の対応やスタッフの配置は課題を感じる。 ● スタッフの配置は足りているのだろうか。ギリギリの配置人員で対応しているのではないかと感じてしまった。 ● 笑いが絶えない楽しいGHを作りたいという熱意に好感が持てた。土日は少ない人数の中、適切な支援を届けるために誠心誠意対応されていると感じた。今後職員が増えればイベントもより充実するとのこと期待している。

3 地域に開かれたサービス
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民がホームを訪れる、または利用者の地域行事への参加を促進するなどの取り組みを行い、地域住民との交流の機会を確保しているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の行事など参加されている。地域に開かれたGHをもっとアピールしていただきたい。 ● 地域の方への周知やイベントの参加などを通じ、地域で生活されている障害者の方を知ってもらい取り組み等期待している。 ● 地域の祭りや行事もたくさんあるので、積極的に活用してほしい。 ● GH所在地の学区社会福祉協議会やLMOが活発な地域だと思うので、協同して地域とのつながりをもってもらいたい。 ● スタッフに余裕があると、もっと地域行事に積極的に参加できるのではないかな。 ● 佐伯区内のGHの集まりに参加していただいていることで、今回グループホームについて、より学ぶことができ勉強になった。

4 地域移行等の促進
(評価ポイント)
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うための取り組みを行っているか。
評価・要望・助言
<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館も近くにあるため、連絡をとって利用者地域の方の活動の場を作っていったらよいのではないかな。 ● 地域連携をこれから増やしていく状況と思います。地域移行の選択肢として、他サービスとして連携していきたいと感じました。 ● 法人内のサポート付き住宅など資源を活用して引き続き取り組んでいただきたい。

5 その他自由記載欄(全体的な感想など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 大きな法人でもあるので、地域資源(主にGH)をもっと立ち上げていただければ嬉しい。 ● 職員の確保が大変だと思うので、人員基準を増やすなど働きやすい制度を整備してほしい。 ● 開所からまだ1年程度とのことで、試行錯誤を重ね苦労も多いのではと感じましたが、利用者との関わりや伝え方が大変勉強になりました。 ● 職員の入室に抵抗を示す利用者には自己管理の一環として掃除は自分でさせる、何かあれば自分から発信してもらうなど、意図をもって毅然とした対応をされている。 ● 入所もない利用者の希望をうけとめ、環境に慣れるまでは個室での食事を認める等、本人に合わせたスモールステップと柔軟性もあり、バランスの取れた対応をされていると感じた。